

平成 26 年度第 1 回日野市入札及び契約等監視委員会議事概要

開催日時場所	平成 26 年 5 月 23 日（金） 午前 10 時 00 分～午前 11 時 20 分 日野市役所 5 階 507 会議室	
出席委員	委員長 西浦 定継（明星大学理工学部教授） 委員 山下 太郎（弁護士 日野市民法律事務所） 委員 濱中 大輔（税理士 星野・濱中会計事務所）	
議事次第	<p>1. 開会</p> <p>2. 審議事項</p> <p>（1）抽出案件について（平成 26 年 1 月 1 日から平成 26 年 4 月 30 日までの総務課契約締結分）</p> <p>3. その他</p> <p>4. 閉会</p>	
	<b>質問・意見</b>	<b>回答</b>
	<p>2（1）抽出案件について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>抽出方法等の説明を事務局に求める。</li> </ul> <p>○工事について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「（仮称）豊田南地区 1 号公園内集会施設機械設備工事」について、建築工事に追隨する本工事を中止にした理由は。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今回の審査対象期間は、平成 26 年 1 月 1 日から平成 26 年 4 月 30 日までとなっています。</li> <li>この間に総務課で契約締結した案件の総数は 887 件です。4 月 1 日付けで契約を行う準備行為が含まれるため、件数が多くなっています。</li> <li>本件は、豊田南土地区画整理地内 1 号公園内にある 100 名程度収容できる集会施設の機械設備（給水・排水・ガス・空調等）の工事です。</li> <li>建築工事が契約不調となったことにより、本件工事も中止したのですが、一般的に本体工事が決まらなると、追隨する工事のスケジュールを決めることができないため、追隨する工事は中止にします。また、今回は本体工事の入札をすぐやり直しましたが、場合によっては本</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・「(仮称) 豊田南地区 1号公園内集会施設 建築工事」の不調について、やり直しの際外構工事を外したとのことだが、事前に確認(説明会等)は行っていないのか。</li> <li>・業者と市の積算に相違があることについて事前に分かっていたら、別の対応が可能だったのでは。</li> <li>・そのような情報をうまく把握しながら発注ができるような仕組みがあればいいと思う。</li> </ul> <p>○設計・測量について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「日野市立三沢中学校校庭芝生化設計業務委託」について、入札に参加したのはすべて実績のある会社なのか。</li> </ul>	<p>体工事の再度入札までに時間を要することがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、入札前に事業者向けの説明会などは行っていません。また、不調となった案件については、入札後に事業者から積算内訳を参考として提出してもらい、市の積算と比較検討したうえで再度入札手続きを行っています。</li> <li>・工事の内容をどの程度盛り込むかは主管課の判断になります。今回のケースでいえば、当初外構工事については規模が大きくなかったため、本体工事の付帯部分として工事内容を決定しました。なお、外構工事は一般土木という業種の工事になります。しかし、工事は建築工事として発注しているので、外構工事の部分は落札業者が直接ではなく下請け業者に施工してもらうことになるため、コストが高くなったと思われます。このことは、不調となった際に、入札に参加した業者からの聞き取りで判明したものです。</li> <li>・本件は三沢中学校校庭の芝生整備のための実施設計です。今回学校校庭や運動施設等において本件と同様に天然芝の芝生化設計の実績があることを入札参加資格の条件としました。よって、入札に参加したすべての業者が実績を有して</li> </ul>
---	--

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 予定価格と落札額に相当開きがあるが具体的な相違点は業者に確認しないとわからないのか</li> </ul> <p>○印刷について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「(仮称) 介護と医療の連携ガイド印刷」について、落札率がかなり低いが、これまでの落札率で最も低いのは何%くらいか。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 落札率が低いものについては、データを蓄積して、なぜそのような結果になったのかを分析してもいいと思う。</li> <li>・ 参考見積もりは複数者から取っているのか。</li> </ul> <p>○修繕について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「平成25年度交通安全施設(道路標識)修繕」について、発注時期が早ければ落札率が変わっていたかもしれないのか。</li> </ul> <p>○委託について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「残土収集運搬業務委託」について、予定価格を上げたが、落札額が前年とほぼ</li> </ul>	<p>います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ そのとおりです。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本件は、介護と医療のサービス提供事業者相互の機関連携の推進に有用な情報を網羅した冊子(ガイド)の作成です。落札率は確認してみないと正確な数値はわかりませんが10数%というものがあつたと記憶しています。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本件については1者のみです。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本件は、平成24年度に策定した交通安全施設修繕計画に基づく、腐食劣化が進んでいる道路標識の修繕です。修繕箇所の選定に時間を要したため発注時期が遅くなってしまったものです。発注時期により落札率が変わるかという点について、何とも言えませんが工期が確保できないという理由で辞退した事業者が仮に応札したとするとその可能性はあると思います。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ そのとおりです。</li> </ul>
---	---

<p>同額であったため落札率が低くなったということか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参考見積もりは大体同じ業者から取るのか</li> <li>・「焼却灰放射能濃度等測定業務委託」について、設計金額の設定が複数者の見積額の平均値ということだが、これは一般的な方法なのか。</li> <li>・このような場合、過去のデータから適当な価格を判断するという作業をした方が良いのでは。例えば、最高値と最低値を除く金額の平均値を採用するなど</li> <li>・労務単価の上昇については、柔軟に対応していくといった、全庁的な方針が必要なのでは。</li> <li>・「日野市庁舎管理業務委託」の業者決定が遅いとの指摘について、タイムスケジュール上問題点はあるのか</li> <li>・短縮する手段として、契約にかかる資料を電子メールで送信することなどを検討してもよいのでは。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・例年行っている業務については、前年度契約業者から取ることが多いです。</li> <li>・複数者から見積もりを徴した場合は、低い額を採用することが多いです。</li> <li>・予算要求の時点では平均値を採用するという手法を用いていないのが現状です。</li> <li>・基本的には、労務単価の上昇には対応すべきと考えています。</li> <li>・本件は、日野市本庁舎の管理業務を委託するもので、業務は広範囲にわたるものです。例年、業者決定が3月中旬ごろとなっており、入札参加業者から決定時期が遅く人員等の確保が厳しいとの指摘をいただきました。</li> <li>・契約手続きにおいては、適切に処理をしており、日程を短縮することができる部分はないと考えています。</li> <li>・これらのことから、契約手続きの開始時期を早めることでしか、問題を解決する方法がないのではと考えています。</li> <li>・検討します。</li> </ul>
--	---

<p>○備品について</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・新選組のふるさと歴史館で使用する幕末関係史料の購入なども契約手続きにより購入しなければいけないのか。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・本件は、通常の本屋では入手することができないものですが、購入に当たり契約手続きは必要となります。</li></ul>
--	---